

予 算 要 求 資 料

令和 4 年度 1 2 月補正予算 支出科目 款：土木費 項：都市計画費 目：都市公園費

事 業 名 岐 阜 県 百 年 公 園 維 持 管 理 費 （ 指 定 管 理 者 分 ）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

都市建築部 都市公園課 管理運営係

電話番号：058-272-1111(内3777)

E-mail：c11669@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 1,207 千円 （現計予算額： 51,700 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	51,700	0	0	783	0	0	0	0	50,917
補 正 要求額	1,207	0	0	0	0	0	0	0	1,207
決定額									

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

①経緯

平成15年9月に地方自治法の一部を改正する法律が施行され、公の施設の管理運営について、指定管理者制度が創設された。百年公園についても、民間の経営ノウハウの活用による利用者サービスの向上と経費の節減を図るため、平成17年9月から指定管理者制度を導入している。

②現状

- ・指定管理者：昭和造園土木・名岐サービス J V グループ
（昭和造園土木（株）、（株）名岐サービス）
- ・第 1 期 平成17年9月1日～平成22年3月31日（5年間）
- ・第 2 期 平成22年4月1日～平成27年3月31日（5年間）
- ・第 3 期 平成27年4月1日～令和 2年3月31日（5年間）
- ・第 4 期 令和 2年4月1日～令和 7年3月31日（5年間）

<指定期間を5年とした理由>

公園の利用の促進等指定管理者の創意工夫による業務が含まれることから、指定期間を5年とした。

③目的

指定管理者制度の導入により、最小のコストで最大のサービスが提供できるよう経費節減を図り、適切な県営公園の管理運営を行う。

④原油価格高騰に対する対応について（追加分）

電気やガスの燃料価格が短期間で急激に上昇してきていることから、県で応分を負担する。

(2) 事業内容

- ①指定管理者による都市公園の維持管理
- ②指定管理料の光熱費高騰による支出増加に対する増額分

(3) 県負担・補助率の考え方

県（50,917千円）、管理及び設置許可等収入（783千円）

(4) 類似事業の有無

有

【類似事業】

- ・養老公園維持管理費（指定管理者分）
- ・各務原公園維持管理費（指定管理者分）
- ・ぎふワールド・ローズガーデン維持管理費（指定管理者分）
- ・世界淡水魚園維持管理費（指定管理者分）
- ・ぎふ清流里山公園維持管理費（指定管理者分）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,207	光熱水費の増嵩分
合計	1,207	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

快適かつ安全な公園管理のため、継続的に費用の確保が必要。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
都市公園の適正な管理運営を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①来園者数	480 千人	511 千人	485 千人	500 千人	530 千人	94%

○指標を設定することができない場合の理由

指定管理料の光熱費高騰による増額分のため

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 (1) 公園を管理すること。 (2) 公園の利用者へのサービス提供に関すること。 (3) 公園の利用の促進に関すること。 (4) 上記以外の事業に関すること。
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	都市公園を管理運営は、県民のレクリエーションの空間となるほか、コロナ禍における屋外の安全・安心な空間としてのニーズの高まりがあり、事業の必要性が高い。
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	都市公園の適正な管理を概ね期待どおり実施している。
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	民間のノウハウを活用し、経費の節減を図りつつ、利用者サービスの向上に努めている。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 公園施設の老朽化に伴う維持管理費の増加</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県民、運営協働会議、県営公園指定管理者評価員会議等の意見を公園の管理運営に反映させ、指定管理者とともに、利用しやすく、サービスが充実した都市公園となるよう引き続き取り組んでいく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	